

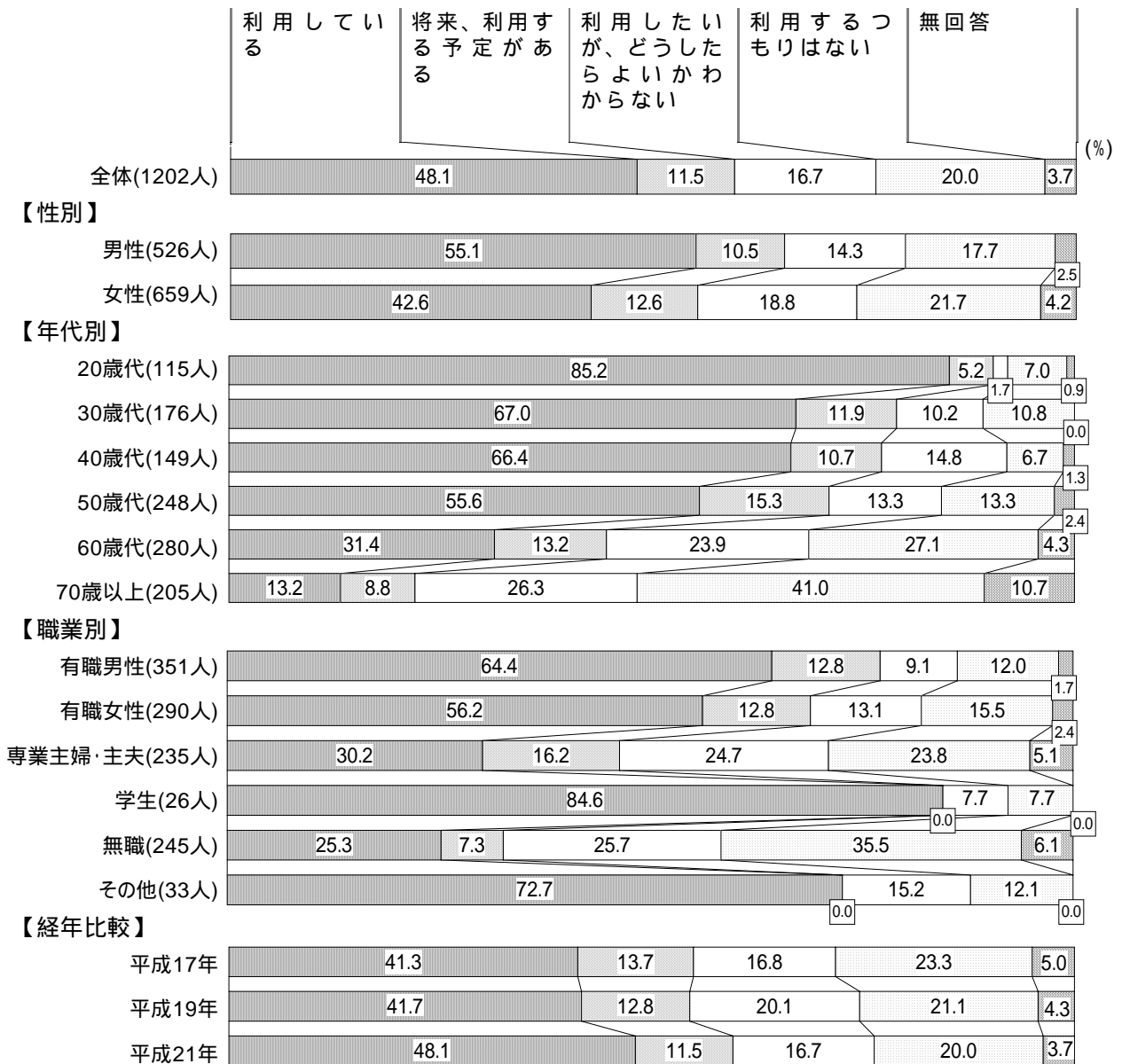
# 5 . 市民生活について

## 5 - 1 . インターネットの利用状況

「利用している」48.1%、「利用意向がある」28.2%

問13 . あなたは、ホームページを見たり、インターネットを利用したりしていますか。1つ選び、番号を で囲んでください。

インターネットの利用状況



全体で見ると、「利用している」は、48.1%となっています。また、「将来、利用する予定がある」(11.5%)と、「利用したいが、どうしたらよいかわからない」(16.7%)の両者を合わせた“利用意向がある”と回答した人は28.2%となっています。

性別で見ると、「利用している」は、男性(55.1%)が女性(42.6%)を12.5ポイント上回っています。“利用意向がある”では、女性(31.4%)が男性(24.8%)を6.6ポイント上回っています。

年代別で見ると、「利用している」は、年代が下がるほど高く、20歳代で85.2%となっています。“利用意向がある”では、年代が上がるほど高くなる傾向がみられ、60歳代以降の年代で3割台を占めています。「利用したいが、どうしたらよいかわからない」で見ても、60歳代以降の年代で2割台と比較的高くなっています。

一方、「利用するつもりはない」は、70歳以上で41.0%と高くなっています。

職業別で見ると、「利用している」は、有職男性で64.4%を占め、有職女性でも56.2%と半数を超えています。

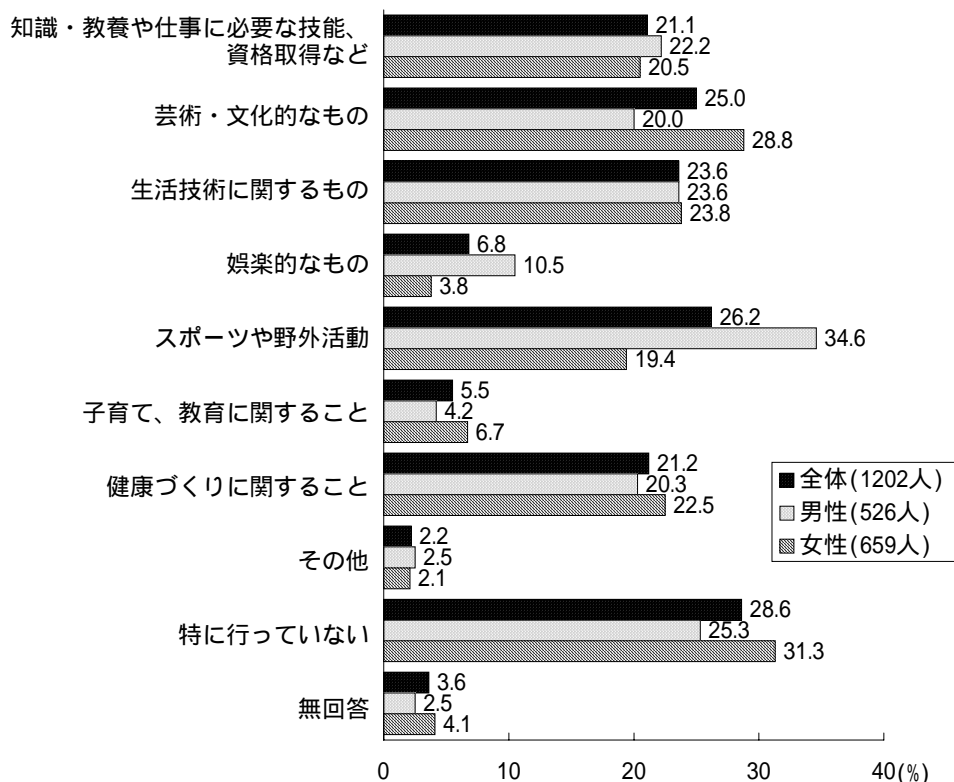
平成17年度からの調査結果と比較すると、「利用している」は増加傾向となっており、平成19年度より6.4ポイント増加しています。

## 5 - 2 . 学習や趣味などの活動状況

「スポーツや野外活動」「芸術・文化的」「生活技術」「健康づくり」「知識・教養や技能、資格取得など」が2割台

問14. あなたは現在、学習や趣味などの活動を行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を で囲んでください。

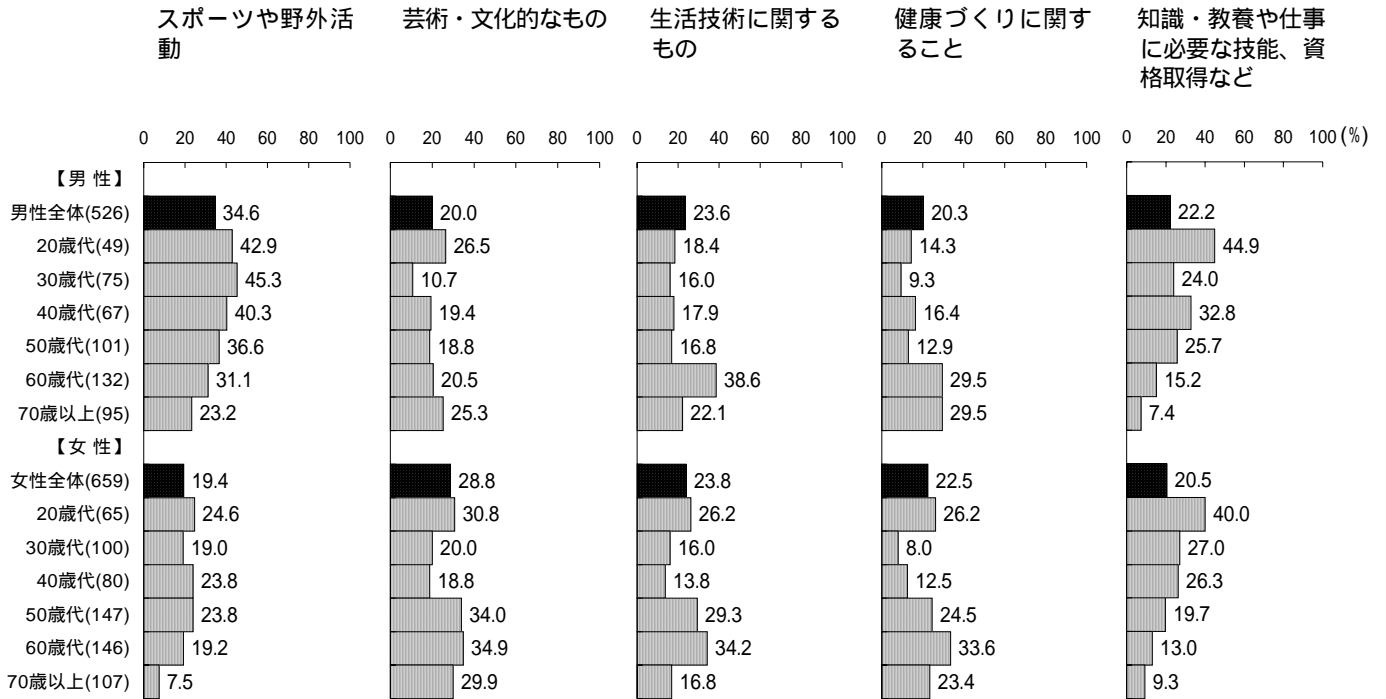
学習や趣味などの活動状況（全体・性別）



全体で見ると、「スポーツや野外活動」(26.2%)、「芸術・文化的なもの」(25.0%)、「生活技術に関するもの」(23.6%)、「健康づくりに関すること」(21.2%)、「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」(21.1%)が高くなっています。また、「特に行っていない」も28.6%と高くなっています。

性別で見ると、「スポーツや野外活動」は、男性(34.6%)が女性(19.4%)を15.2ポイント、「娯楽的なもの」でも、男性(10.5%)が女性(3.8%)を6.7ポイント上回っています。一方、「芸術・文化的なもの」は、女性(28.8%)が男性(20.0%)を8.8ポイント上回っています。

学習や趣味などの活動状況（性・年代別 上位5項目）



性・年代別で見ると、「スポーツや野外活動」は全体的に男性の割合が高く、特に20歳代から40歳代で4割台と高くなっています。

「芸術・文化的なもの」は、女性の50・60歳代で3割台半ばと高くなっています。「生活技術に関するもの」は、男女の60歳代で3割台と高くなっています。

「健康づくりに関すること」は、女性の60歳代で33.6%、男性の60歳代・70歳以上でそれぞれ29.5%と高くなっています。

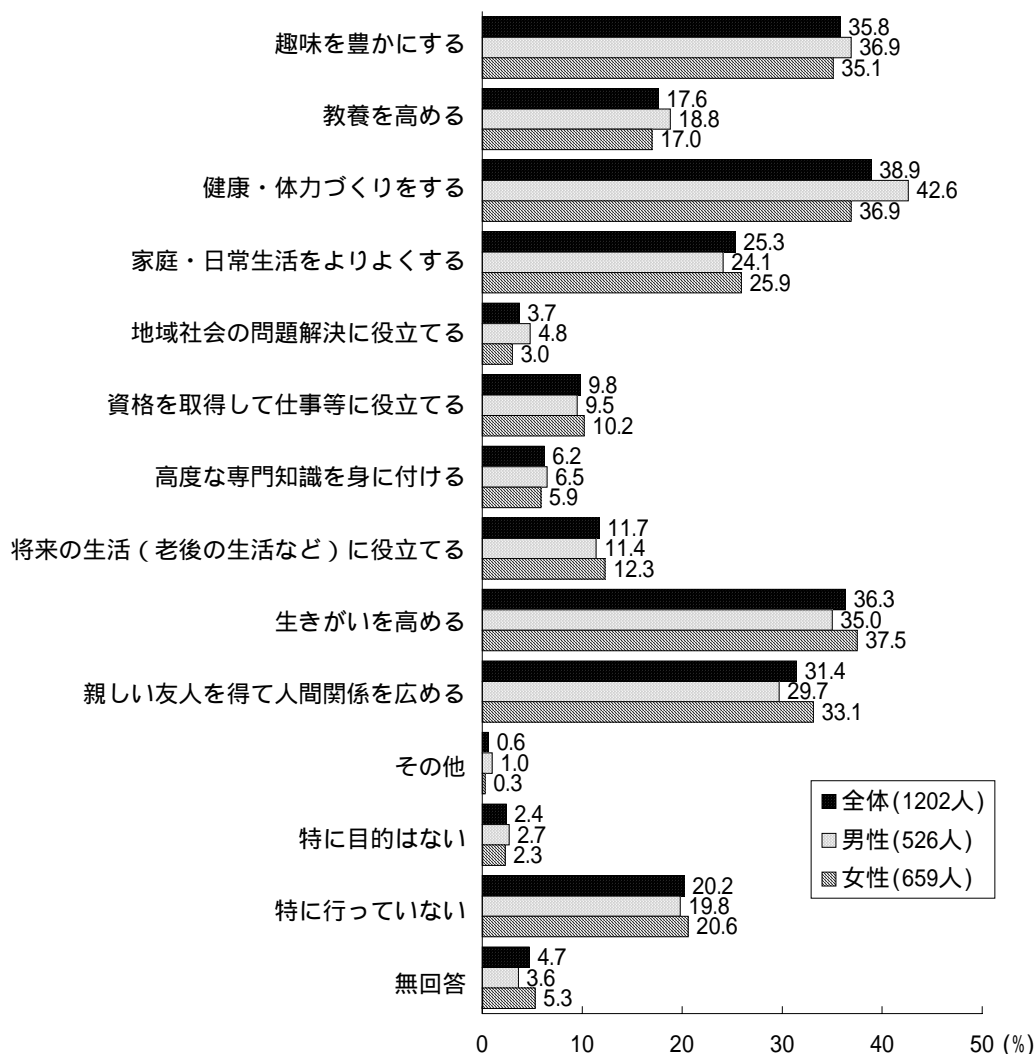
「知識・教養や仕事に必要な技能、資格取得など」は、男女の20歳代で4割台と高く、年代が上がるほど割合は低くなっています。

### 5 - 3 . 生涯学習等の活動を行っている目的

「健康・体力づくりをする」38.9%

問15. あなたは、生涯学習としての趣味や習い事の活動について、どのような目的で行っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号を で囲んでください。

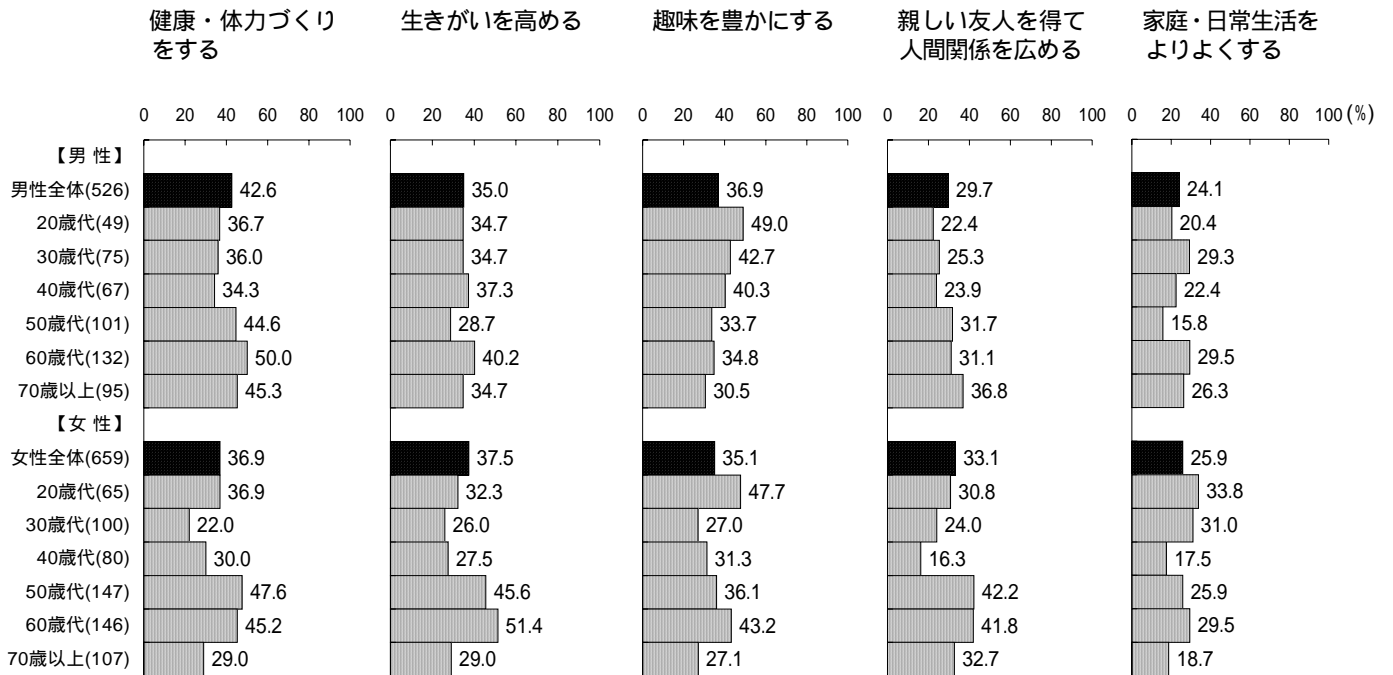
生涯学習等の活動を行っている目的（全体・性別）



全体で見ると、「健康・体力づくりをする」が38.9%で最も高く、次いで「生きがいを高める」(36.3%)、「趣味を豊かにする」(35.8%)、「親しい友人を得て人間関係を広める」(31.4%)が続いています。

性別で見ると、「健康・体力づくりをする」は、男性(42.6%)が女性(36.9%)を5.7ポイント、「親しい友人を得て人間関係を広める」は、女性(33.1%)が男性(29.7%)を3.4ポイント上回っています。それ以外の項目では大きな差異はみられません。

生涯学習等の活動を行っている目的（性・年代別 上位5項目）



性・年代別で見ると、「健康・体力づくりをする」は、男性の60歳代で50.0%、女性の50歳代で47.6%、60歳代で45.2%と高くなっています。

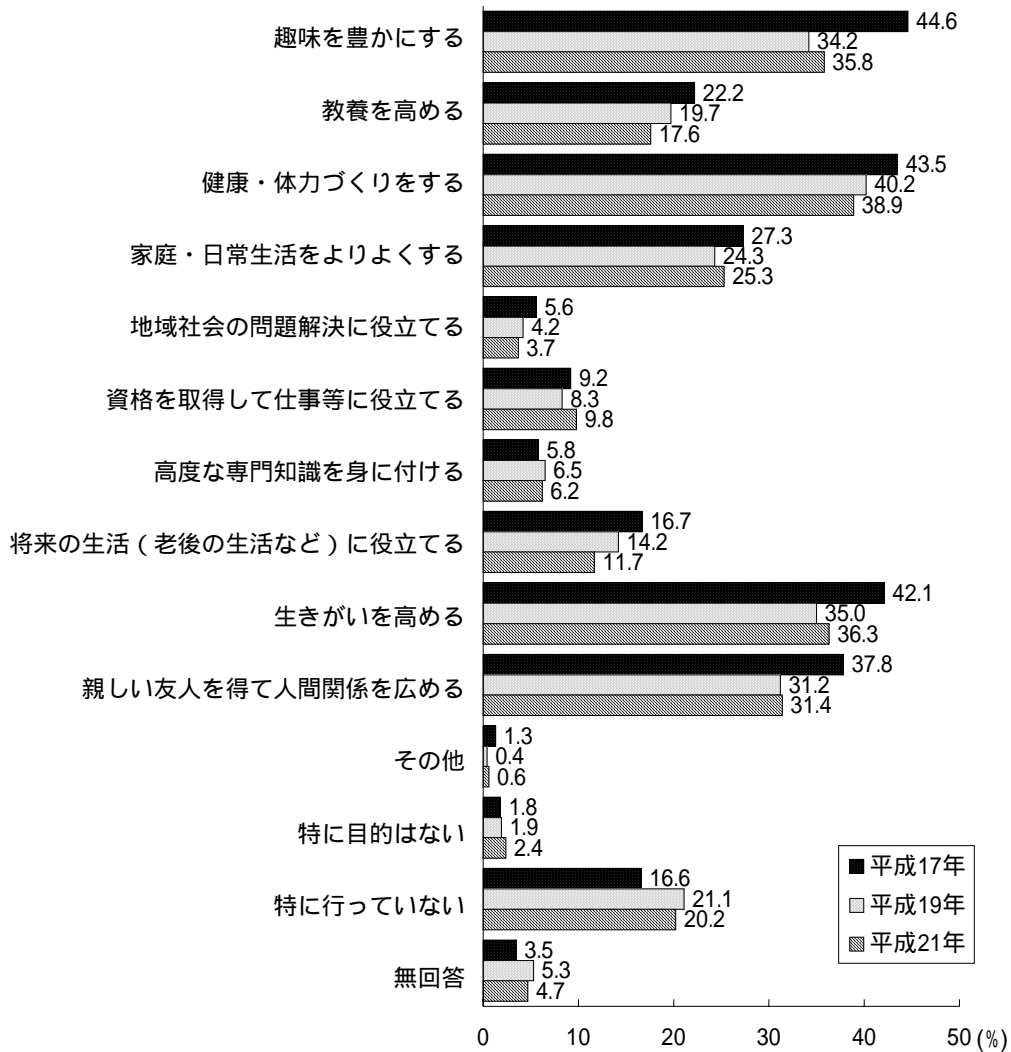
「生きがいを高める」は、女性の60歳代で51.4%、50歳代で45.6%、男性の60歳代で40.2%と高くなっています。

「趣味を豊かにする」は、男性の20歳代から40歳代で4割台、女性の20歳代と60歳代で4割台となっています。

「親しい友人を得て人間関係を広める」は、女性の50・60歳代で4割台と高くなっています。

「家庭・日常生活をよりよくする」は、女性の20・30歳代で3割台と比較的高くなっています。

生涯学習等の活動を行っている目的（経年比較）



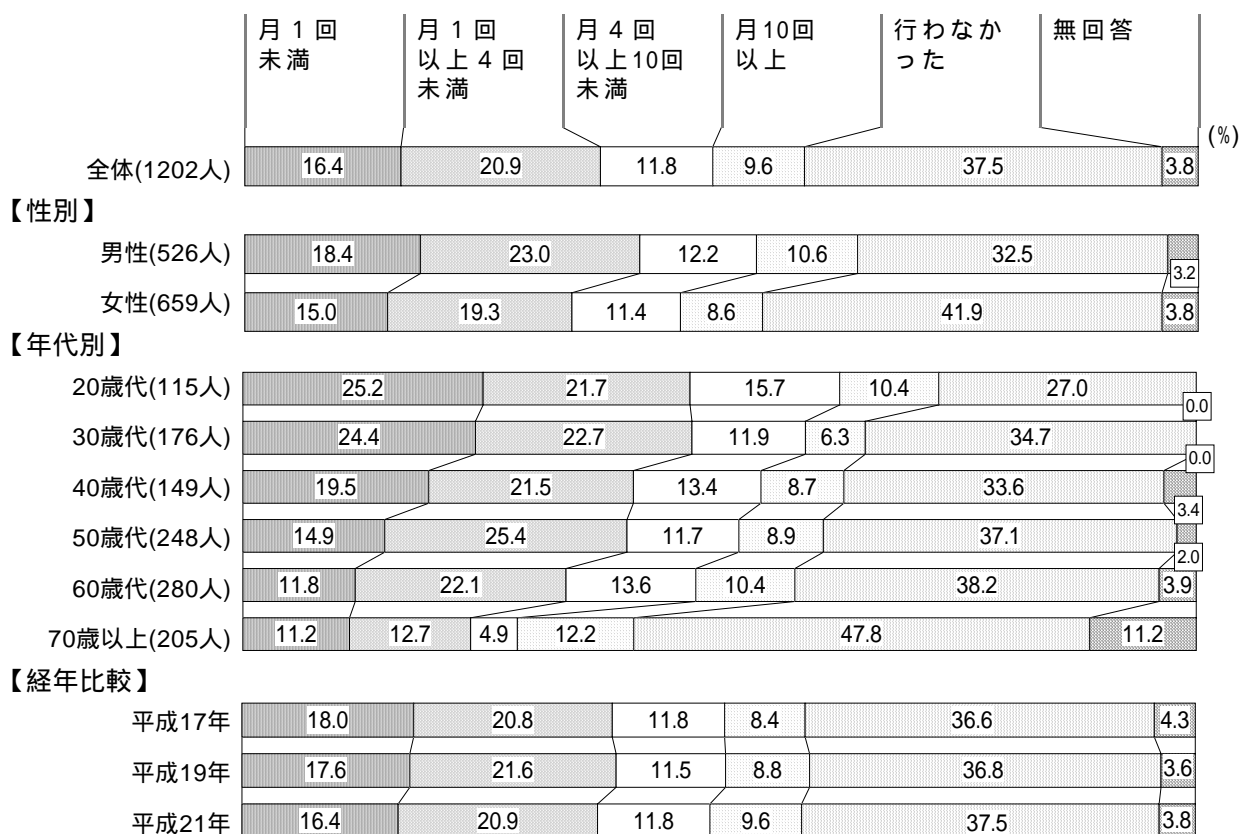
平成17年度からの調査結果と比較すると、各項目で増加・減少はみられるものの、全体としての順位に大きな差異はみられません。

## 5 - 4 . 運動（スポーツ）を行う頻度

“ 習慣的に運動を行っている ” 42.3%

問16 . あなたは、過去 1 年間に運動（スポーツなど）を平均してどのくらい行いましたか。1つ選び、番号を で囲んでください。

### 運動（スポーツ）を行う頻度



全体で見ると、「月 1 回以上 4 回未満」、「月 4 回以上 10 回未満」、「月 10 回以上」を合わせた 42.3% が “ 習慣的に運動を行っている ” と回答していますが、一方で「行わなかった」も 37.5% と高くなっています。

性別で見ると、“ 習慣的に運動を行っている ” は、男性（ 45.8% ）が女性（ 39.3% ）を 6.5 ポイント上回っています。

年代別で見ると、“ 習慣的に運動を行っている ” は、70 歳以上を除いて 4 割台となっています。一方、「行わなかった」は、年代が上がるほど高く、70 歳以上で 47.8% となっています。

平成 17 年度からの調査結果との比較では、特に大きな差異はみられません。

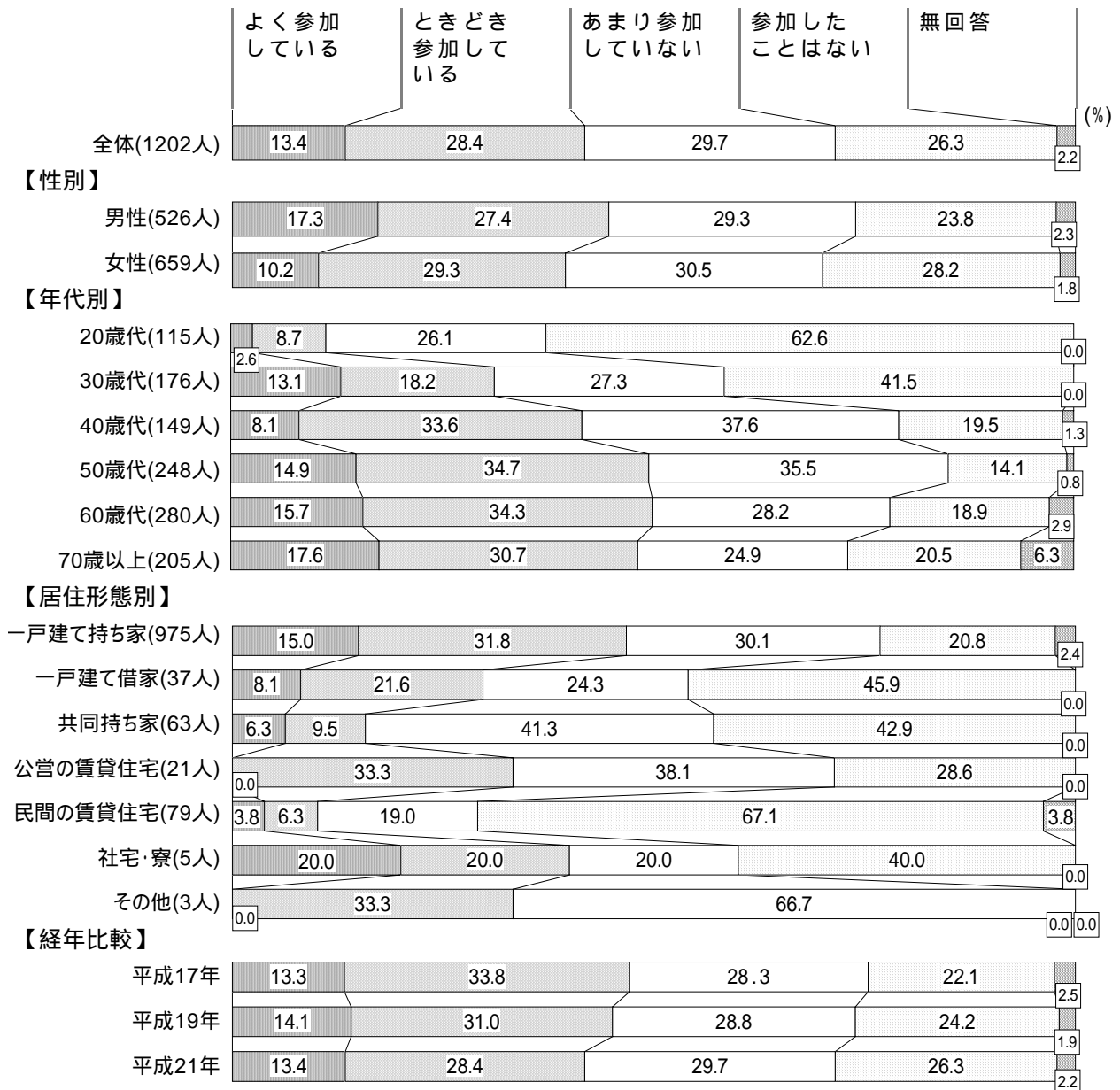


## 5 - 5 . 地域活動への参加状況

“ 地域の活動に参加している ” 41.8%

問17. あなたは、現在、自治会活動や地域の行事などに参加していますか。1つ選び、番号を で囲んでください。

地域活動への参加状況



全体で見ると、「よく参加している」は13.4%、「ときどき参加している」は28.4%で、両者を合わせた41.8%が“ 地域の活動に参加している ” と回答しています。

性別で見ると、“地域の活動に参加している”は、男性（44.7%）が女性（39.5%）を5.2ポイント上回っています。

年代別で見ると、“地域の活動に参加している”は、40歳代以降の年代で4割以上、60歳代では2人に1人の割合となっていますが、20歳代では11.3%と特に低くなっています。

居住形態別で見ると、“地域の活動に参加している”は、一戸建て持ち家で46.8%、公営の賃貸住宅で33.3%となっていますが、民間の賃貸住宅では1割未満にとどまっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、“地域の活動に参加している”は減少傾向にあり、平成19年度より3.3ポイント減少しています。

## 5 - 6 . ボランティア活動への参加状況

“活動経験がある” 23.9%

問18. あなたは、ボランティア（社会貢献）活動をしていますか。1つ選び、番号を で囲んでください。

ボランティア活動への参加状況



全体で見ると、「活動している」は9.7%、「以前活動していたが現在はしていない」は14.2%で、両者を合わせた23.9%が“活動経験がある”と回答しています。「将来活動してみたいと思っている」も42.9%と高くなっています。

性別で見ると、“活動経験がある”は、女性（25.8%）が男性（21.8%）を4ポイント上回っています。「将来活動してみたいと思っている」は、男性（44.5%）が女性（41.7%）を2.8ポイント上回っています。

年代別で見ると、“活動経験がある”は、70歳以上（39.1%）、60歳代（30.7%）で3割台と高くなっています。

居住形態別で見ると、“活動経験がある”は、共同持ち家で27.0%、一戸建て持ち家で25.7%と比較的高くなっていますが、一戸建て借家で1割未満、賃貸住宅（公営・民営）で1割台にとどまっています。

平成17年度からの調査結果と比較すると、“活動経験がある”は減少傾向にあり、「今後も活動するつもりはない」が平成19年度より4ポイント増加しています。

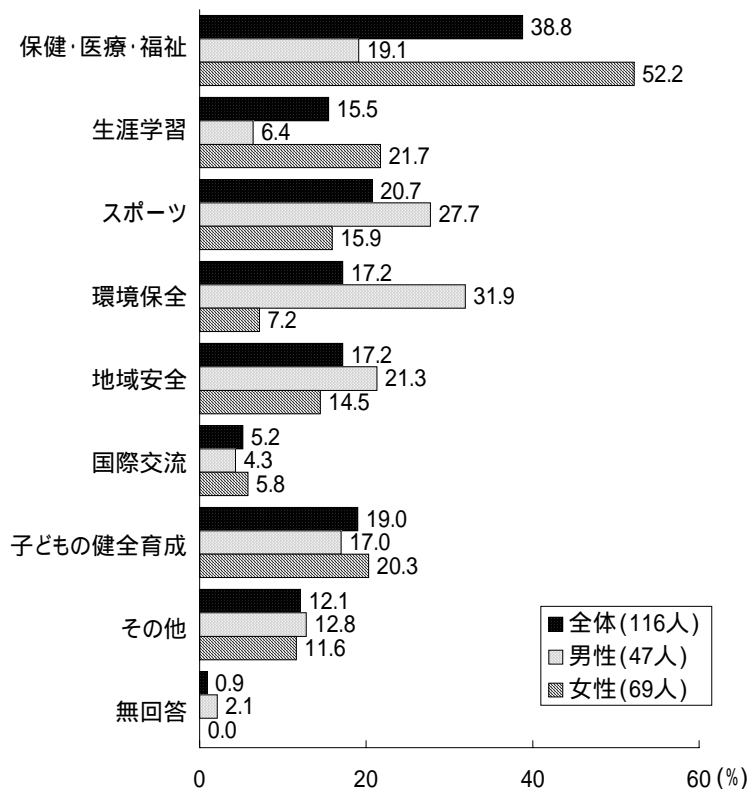
## 5 - 7 . 活動している分野

「保健・医療・福祉」「スポーツ」が高い

(問18で「現在活動している」とお答えの方におたずねします。)

問18 - 1 . 活動しているのはどの分野ですか。あてはまるものをすべて選び、番号を で囲んでください。

活動している分野 (全体・性別)



全体で見ると、「保健・医療・福祉」が38.8%で最も高く、次いで「スポーツ」(20.7%)、「子どもの健全育成」(19.0%)、「環境保全」、「地域安全」(それぞれ17.2%)が続いています。

性別で見ると、「保健・医療・福祉」、「生涯学習」は女性が、「環境保全」、「スポーツ」は男性がそれぞれ10ポイント以上上回っています。